

大阪大学経済学

第66卷 第2号

2016年9月

OSAKA
ECONOMIC
PAPERS

大阪大学経済学会
大阪大学大学院経済学研究科
大阪府豊中市待兼山町

大阪大学経済学

(欧文誌名 Osaka Economic Papers)

本誌は大阪大学経済学会・大阪大学大学院経済学研究科の紀要として年4回、邦文ならびに欧文の論稿によって刊行される。

本誌の編集は、大阪大学経済学会によって選ばれた編集委員3名により行われる。編集委員は寄稿された研究成果を選定し、論文・覚書・資料および書評に類別して本誌を編集する。

大阪大学大学院経済学研究科に所属する研究者はその研究成果を本誌に寄稿することができる。なお、大阪大学大学院経済学研究科に所属しない研究者による研究成果も、大阪大学大学院経済学研究科における研究と密接な関係にあるものについては寄稿することができる。

なお、寄稿する際は「大阪大学経済学会」会員として、年会費¥4,000を納入する必要がある。

大阪大学経済学会会則

- 第1条 本会は大阪大学経済学会と称する。
- 第2条 本会は経済学、経営学の研究と発表を目的とする。
- 第3条 本会の事務所を大阪大学大学院経済学研究科資料室に置く。
- 第4条 本会は下記の事業を行う。
1. 雑誌「大阪大学経済学」の発行（年4回）
 2. 研究会及び講演会の開催（随時）
 3. その他、評議員会で適当と認めた事業
- 第5条 本会は下記の会員を以て組織する。
1. 普通会員（大阪大学大学院経済学研究科の教員、大阪大学の院生・学生・卒業生及び評議員会の承認を得た者）
 2. 賛助会員（本会の事業を賛助する者）
- 第6条 会員は本会の諸事業に参加できる。
- 第7条 本会に下記の役員を置く。役員の任期は2年とする。
1. 会長（大阪大学大学院経済学研究科長を以ってこれに充てる）
 2. 評議員（大阪大学大学院経済学研究科の教授・准教授・講師を以ってこれに充てる）
 3. 雑誌編集・庶務・会計の委員若干名（評議員中より互選する）
 4. 書記若干名（助手から互選する）
- 第8条 本会の運営はすべて評議員会の決議による。
- 第9条 会長は本会を代表する。
- 第10条
1. 普通会員は会費として年額4,000円を納入するものとする。
 2. 賛助会員は会費として年額10,000円以上を納入するものとする。
- 第11条 本会則の変更は評議員会の決議による。

大阪大学経済学会評議員

会長 堂目卓生

評議員 (ABC順)

阿部 顕三	鳩澤 歩	堂目卓生	深尾 葉子
福重 元嗣	福田 祐一	二神 孝一 (庶務)	廣田 誠
石黒 真吾	祝 迫 達郎 (会計)	勝 又 壮太郎 (会計)	葛城 政明
小林 敏男	松村 真宏	村宮 克彦	中川 功一
西原 理 (編集)	西村 幸浩	大西 匡光	太田 亘
恩地 一樹	小野 哲生	大屋 幸輔	Pierre-Yves Donzé (編集)
佐井 りさ	佐々木 勝	関口 倫紀	椎 葉 淳
高橋 慎	竹内 恵行	谷崎 久志	友部 謙一
浦井 憲	白井 正樹	渡辺 泰明	Wirawan Dony Dahana
許 衛 東	山本 千映	山本 和博 (編集)	山本 達司
安田 洋祐			

大阪大学経済学 第66巻 第2号

目 次

資料

機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料

— 兵庫県的事例 — 沢 井 実 1

【資料】

機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料*

— 兵庫県の事例 —

沢井 実[†]

戦前期に民需生産を行っていた機械器具工場が戦時期になると軍需生産に動員され、敗戦とともに今度は軍需生産から民需生産への再転換を余儀なくされることはよく知られた日本経済史・経営史上の事実である。そうした民軍転換および軍民転換の実態について、社史などを調査することで個別ケースの実態にふれることはできるが、ある地域に所在する機械器具工場全体が総体としていかなる軌跡を描いたかになると、その全体像を把握することはなかなか困難である。

そうした研究史上の要請にある程度応えてくれる貴重な資料が、小論で紹介する兵庫県商工経済部編『工場現況調査』（1946年8月刊行、同年4月1日現在調査）である。同書の「はしがき」によると、調査対象は兵庫県下で「終戦時従業員五十人以上を収容して居た」工場589工場であり、同調査に対して資料を提出した工場は402工場であった。本調査では紡織、金属、機械器具、窯業、化学、その他、ガス電気の7分類が採用されているが、本資料ではそのうち機械器具工場169工場の転換動向が示されている。

本調査でいう「戦時中」とはいつを指すのか明示されていないが、戦時中の労務状況では動員学徒を含んでいるため、太平洋戦争後半期で

あることは間違いない。「戦前」（これもいつを指すのか明示されていない）、「戦中」、終戦から8カ月も経ていない「現在」の3時点における主要生産品目、「戦時中」と「現在」の男女別労務者数、「転換状況」、「戦災有無状況」、1946年4月1日現在での「生産阻害状況」を兵庫県全県ベースで教えてくれる本資料を検討することによって、われわれは民軍転換、軍民転換、さらに経済復興を開始するに当たって、機械器具工場が最初に直面した諸問題の実相について知ることができる。

最初に「生産阻害事情」からみると、ほとんどの工場が指摘するのが、燃料（石炭、コークス）、資材・副資材、食糧、熟練工、事業資金の不足であり、ヒト、モノ、カネのすべての生産要素が欠乏している切迫した事情を伝えている。事業資金の調達難の一要因として1946年2月に実施された金融緊急措置令による預金封鎖の影響が大きかった。また「受注額見返ニ依ル対銀行融資方懇請中」（表1-10）といった指摘からは、この時期の銀行融資獲得の難しさがわかる。「地方銀行支店ノ行キスギ措置」（表1-13）の実態はよく分からないが、金融不如意が大きな課題の一つであった。さらに輸送状況が悪いために疎開先から機械類を搬出できないといった事態も随所でみられた。戦時中に設備機械を疎開先に移送することも大きな困難を伴ったが、戦後その機械を元に戻すことはそれ以上の困難だったのである。「食糧事情ノ逼迫ニ依リ農漁等或程度ノ自給自足ヲ目シ欠勤者続

[†] 南山大学経営学部教授・大阪大学名誉教授。

* 本稿作成に際して、平成28年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究 [C]、課題番号15K03576）による研究助成を受けた。

出」(表1-13)を訴える工場もあり、食糧事情の悪さが欠勤率の高さに直結していた。

戦災による被害だけでなく、1945年9月の風水害による被害も大きかった。また「治安不安定ニヨリ残業不能」(表1-3)が指摘され、「官庁間ニ於ケル枠及現物ノ奪合及事務渋滞」(表1-4)を指摘する企業もあった。陸海軍は消滅していたが、依然として「不足経済」下での資材をめぐる官庁間争奪が続いていたことをうかがわせる。さらに「外註部品入荷不調」(表1-5)、「外註品部品入手難」(表1-13)といったように生産ネットワークの寸断が物不足の困難を倍化させていたのである。

「賠償用機械設備ノ範囲未確定」(表1-7)、「賠償関係未確定ノタメ恒久企業ニ使用シ得ベキ場所、設備機械確定セサル」(表1-8)といったように賠償問題の未決着が復興の阻害要因となっていた。また賠償指定ではないが、「進駐軍宿舎及自動車修理工場トシテ接收サレ又軍政部駐在ノタメ全機械設備ノ移転ヲ命ゼラル」(表1-8)、「昭和21年1月11日連合軍第一軍団司令部ヨリLG91号ヲ以テブルドーザーミッションヲ製作中」(表1-9)、「米軍ニ接收サレ土地建物全部失ヒタリ」(表1-12)といったように占領軍による接收、生産指示によって復興の方向性を決定づけられる場合もあった。

戦時動員に関してまず目につくのは、航空機部品、船舶・船用機関部品生産、通信機関連、兵器生産の大きな拡がりである。戦前に家庭金物を作っていた金華電機工作所は戦時期に「電機、通信機部品」に転換し、戦後もラジオ部品、電機部品からスタートした(表1-1)。戦前に電気器具メーカーであった朝日工業所は戦時中に「航空機用発動機部品、艦船用電気機械部品」に転換し(表1-1)、戦前に「ボールトナット、その他諸機械」生産の山陽製作所は戦時中に「潜水艦部品、内燃機部品、甲造船

部品、乙種船部品」を生産し、戦後は戦前に回帰した(表1-2)。

戦前に漁船、内燃機生産を行っていた塩野鉄工所は戦時中には航空機部品を主要生産品目に加え、戦後は自動車部品を手がけた(表1-3)。日本内燃機(1941年4月に日本スピンドルと日本内燃機が合併して日本内燃機となる¹⁾)および大阪機械製作所は戦前には有名な紡績部品、紡績機械メーカーであったが、戦時中には前者は爆弾発火装置、後者は航空機用鍛造品などを生産し、終戦後になると両社とも本業に回帰した(表1-4)。金井重要工業も戦前には紡績部品、トラベラーなどの著名なメーカーであったが、戦時中は航空機部品が筆頭生産品目であり、戦後直後には本業に回帰すると同時に農機具などの生産も行った(表1-5)。戦前にスピンドルを生産していた尼崎の久々知工作所は戦時中に弾丸、貯油槽などを作り、さらに戦争末期には松根油生産の急拡大²⁾を反映して松根(乾留)釜を生産したが、戦後はスピンドルに回帰せず、主軸製品を模索中といったところであった(表1-6)。

表1-5にある尼崎精工を1938年2月に設立したのが、三菱電機の技術者、川北電気工業の工場長を経験した杉山巒一(1908年東京高等工業学校電気科卒)であった。表1-5によると同社は戦前に「信管部品、電気器具、マイクロメータ」を生産し、戦時中には「火砲部品、信管部品、弾〇部品、電気高射標準具」などを生産し、46年4月現在では「電気コンロ、配線器具、電気扇、印刷機械、農耕用電動機」を生産した。戦時中の従業者数は2000人を超え、戦後もすばやく民需転換を実現して46年

¹ この間の経緯については、沢井実「桑田権平と日本スピンドル製造所」(『大阪大学経済学』第61巻第2号、2011年9月)9-10頁参照。

² 1944年10月23日の閣議決定「松根油増産要綱」では、松根油の最終目標は10万キロリットルとされ、全国に1万4070基の乾留釜が設置されることになった(鳥居民『昭和二十年-首都攻防戦と新兵器の開発-』第1部6、草思社、1996年、257頁)。

4月には700人を超える従業員がいた。創業者の息子であり、39年から同社人事課に勤務した平一（37年東京帝大文学部卒）は終戦の日に『徴用解除や！』と喚呼の声をあげて、寮の方へ駆けて行く徴用の人たちの姿が目に焼きついている。（中略）終戦の翌日、おとなしい台湾の人が、社長室に入って、怒鳴りはじめたのに、びっくりした。この人たちの鬱屈した感情に、気づいていなかった」と回顧している³。

「撃墜したB29から分捕ってきたという電気計算機を分解して研究をはじめ、その専門職人を採用したり、航空学科を出たため失業した東大生や京大生から、復員してきた技術将校まで採用した」尼崎精工は1947年より電気扇風機生産に注力し、電気機械輸出の先陣としてAMACD印扇風機を東南アジアに輸出した。しかし50年9月のジェーン台風によって工場が倒壊し、再建は困難をきわめた。54年に同社はわが国初の「還流式」洗濯機を製造したが売れ行きは伸びず、56年に破産した⁴。

西宮の川崎電機工作所は戦前には扇風機、チェンブロックを生産したが、戦時中は航空機部品を加え、戦後になると本業に回帰すると同時に小型モータや電熱器も生産した（表1-8）。土井正機製作所は戦前には粉砕機、製粉機、精白機を生産したが、戦時中は「輸送艇推進軸及付属品」などを生産し、戦後は戦前生産に回帰した（表1-9）。伊丹の鐘淵機械工業および神津製作所は戦前には紡績部品、紡績機械を生産し、戦時中は両工場とも航空機部品に転換し、戦後ふたたび本業に回帰するといった軌跡を描いた（表1-9）。戦前に繊維機械を生産した東亜金属工業は戦時中は船舶部品、航空機部品を生産し、戦後になると「抜根機」を生産した（表1-11）。

戦前にラジオを生産した山中電機は戦時中に

は通信機を生産し、1946年4月現在では「電気製塩目下準備中」であった（表1-11）。河部農機は戦前に脱穀機、除草機などを生産し、戦時中は舟艇部品、火砲部品生産に従事し、戦後は本業の農機具生産に回帰した（表1-12）。戦前に鋤などの「小農器具」を生産した八鹿鉄工は戦時中には「呉海軍工廠電気部分品」を生産し、終戦後は農機具生産に回帰する（表1-13）。

以上のいくつかの事例からもうかがえるように戦前に民需品生産を行っていた中小企業の多くは戦時中には航空機部品、船舶部品、通信機、兵器部品などの生産に動員され、戦後は戦前の本業に回帰するものと本業に回帰せずに新たに他の分野に踏み出そうとするものに別れた。両者にとって戦時生産の経験とは何だったのか。諸資源の不足が深刻化する戦時下において生産の現場に大きな負荷がかかり、不条理ともいべき事態が随所で現出したことは事実であるが、一方で軍需品、航空機部品、通信機部品などの厳しい規格、要求内容を満たすために中小機械器具工場には大きな飛躍が求められた。その時の不条理と戦時合理化の二重の経験が、本業に回帰したあるいは新たな分野に転進していった諸工場をどのように変化させていったのか。この問いに答えることは民軍転換と軍民転換の経済史分析にとって大きな課題の一つである。

最後に1946年4月という経済復興が緒に着いたとはとてもいえないような終戦直後期にあって、戦前からの安定的な本業製品がある場合は別として、多くの工場が急場凌ぎの生産品目に選んだのが、農機具、電熱器、機械器具・電気器具の修理、家庭用金物などであった。燃料不足を背景にした家庭における電熱需要の高まりが、電熱器生産拡大を支えていた。しかしこうした生産、修理活動の過渡的性格は否めず、各工場が主軸となる製品を見出すまでにはまだ長い年月を要することになったのである。

³ 以上、杉山平一『わが敗走』編集工房ノア、1989年、156-157、161、274頁による。

⁴ 以上、同上書、275、279-280、287-292頁による。

表1-1 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	戦時中	戦時中	現在			
神戸	川崎車輛(株)	30,000 30,000	機関車 客車 電車 貨車 自動車 内燃機	同左	機関車 電車 貨車 修繕機四車 修繕貨車	3,831 118 4,141	2,059 118 2,177	転換済	機関設備 58.6 % 建物 56.8 %	燃料不足 熟練工不足 直接資材入手難
	金華電機工作所	500 500	家庭金物	電機 通信機部品	オートラクス ラジオ部品 電機器具	50 100 150	27 22 49	50	ナシ	材料不足
	川崎重工業(株) 艦船工場	600,000 400,000	海軍艦艇 商船 機械類 その他	海軍艦艇 商船 その他	商船艦船造修	22,000 900 22,900	3,600 300 3,900	終戦後直ニ転換シ、 現在計画ノ70%達成	被害程度 30 %	資材不足 労務者ノ不足 事業資金ノ取得不円滑
	(名)朝日工業所 神戸出張所 神業工場	500 500	電気器具	航空機用発動機部品 艦船用電気機械部品	電気器具 機械修理 電機修理	65 36 101	18 9 27	転換済	2/3焼失	材料入手難 主套類及副食物配給 ナキキタム工員ノ欠動多シ 工具類入手困難
	(株)三俣鉄工所	163 163	自動車(トラック) リヤカー ボテ 船舶・諸機械修理	艦艇部品 大砲部品	乾燥機 ロッカー、 家庭用品 ハンズ電 諸機械修理	107 21 128	81 9 90	終戦後、乾燥機、 ハンズ電気 製作中	被害アリシモ従業員 努力ニテ建築物 復旧シ作業差支 ナシ	資材入手難(鉄材、酸素、 カーハイト、昔炭)、ニシテ 至ル
	関西造船(株)	180 180	機運船 木発動艇	機運船 木発動艇	機運船造修 造船修造 小型発動艇 製材	37 0 37	34 0 34	事務所、発動艇、 モーターボート、その他 道具類全焼失	20年9月風水害ヲ蒙リ 資材設備ノ一部ヲ流出 破損シ生産大ニ低下セリ	
	(株)平井工作所	195 175.5	管曲ゲ その他部品	管曲ゲ その他部品	車輛部品 船舶部品	63 1 64	72 2 74	被害程度 70 %	資金ナキタム工場縮食 出来ズ出勤率低下	
	(株)東出鉄工所	500 500	船舶修理 補助給水ポンプ 脚荷水ポンプ 空機予熱機 同加熱構素 鍛造品	船舶修理 補助給水ポンプ 脚荷水ポンプ 空機予熱機 同加熱構素 鍛造品	船舶修理 補助給水ポンプ 工機予熱機 同加熱構素 鍛造品 民用品	208 8 216	89 18 107	全焼 資材ノ関係上木工場 タケ復旧	資材入手難	
	(株)神戸鍛鉄所 神戸工場	3,500 3,500	製鋼用鋸型 同付原品 鍛鋼 鍛鉄品	製鋼用鋸型 同付原品 鍛鋼 鍛鉄品	手廻製粉機 車輛用鍛鉄部品 一般鍛鉄品	250 20 270	35 22 57	全焼 復旧程度 30 %	燃料不足	
	日本自動車機(株)	8,000 6,500	鉄道車両用空圧ブレーキ 自動車用圧入ブレーキ 自動三輪車 各種器具タケ 各種下請加工	空圧ブレーキ 油圧ブレーキ 治具タケ 下請加工 電原発動機用発動機 航空機各種加工	空圧ブレーキ 油圧ブレーキ 治具タケ 1,233 359 1,592	434 27 461	転換完了	被害規模 60 % 復旧程度 40 %	資金調達速ノ如クナラズ 資材入手困難 食糧住宅難ノタメ 優秀工員充足スル能ハス	
	関西造船造機製作所	1,000 1,000	ボールドナット 船釘、吸金 キリンキンキツク	ボールドナット 船釘、吸金 キリンキンキツク	ボールドナット 船釘、吸金 キリンキンキツク 焼玉発動機	80 20 100	137 17 154	全焼 目下、 5棟新築機械据付中	預金封鎖ニヨル事業 資金ノ不円滑 復讐資材入手難 燃料入手難	

【出所】兵庫県商工経済部編「工場現況調査」昭和21年8月。

(注) (1) 昭和21年4月1日現在。中記：男、下段：合計。

(2) 労務状況：上段：男、中段：女、下段：合計。

(3) 戦時中の労働者数は、勤労者数を含む。

(4) 伊丹地区：伊丹市、明石部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

明石地区：明石市、明石部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

姫路地区：姫路市、姫路部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

西脇地区：西脇市、西脇部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

神本地区：神本町、神本部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

津本地区：津本町、津本部、有馬部、武庫部(山田村を除く)。

(5) ○印：記載不能。

表1-2 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
神戸	兵庫造船(株)	180 180	各種船舶建造修理	各種船舶建造修理		92 0 92	現在 76 0 76	全焼 復旧程度 70 %	各種原材料入手難 有為労働者 食料不足	
	三菱電機(株) 神戸製作所	120,000 120,000	水車発動機 タービン発動機 その他同期機 船舶用直流機 船舶用電気品 配電盤	戦車船舶用電表品 航空機用電表品 配電盤 船舶用直流機 水車発動機 タービン発動機 その他同期機	発電機 発電電動機 制御機 昇降機 補機(配電盤等)	6,146 2,822 8,968	1,062 182 1,244	転換進捗 100 % 工具不足 資材不足 資金不足		
	原鉄工所	300 300	船舶織装用品 農具	船舶織装用品 潜水艦	機間用品 農機具	10 2 12	15 10 15	第二工場健在 第二工場全焼	食糧不足ニテ労働者 出勤率低下 燃料不足	
	(株)山陽製作所	300 300	ボールドナット その他諸機械	潜水艦部品 内燃機部品 中造船部品 乙種船舶部品	建築用ボールドナット 車輛用ボールドナット ナット	58 23 81	26 8 34		原材料、燃料、機械油、 切削油、その他一般工具 不足	
	高祖鉄工所	300 300	航空機部品 精密捻子類	発動機用 取機器部品	精密捻子類 電機器部品	34 7 41	16 2 18	ナシ	機械類が疎開先ヨリ 持帰り出来サルタマ 材料燃料入手難	
	渡辺工作所	200 200		潜水艦海防艦ノ内部 構造 船舶修理	鉄船舶修理 戦災復興鉄骨建築 修理	74 4 78	44 2 46	一部罹災 資材不足ノ為復興ナラズ	燃料不足 熟練工不足	
	菊水造船(株)	1,000 1,000		船舶修理 船舶修理	曳船修理 船舶修理	270 20 290	223 7 230	転換ヲ要セス 転換要セス	復旧工事ニ必要ナル 機械設備ノ大半焼失、 流失セリ。復旧程度 40 %	
	三和工業(株)	185 185	車輛部品 製品	船舶無線部品 車輛部品	営業用電熱器 電動機修理 変圧器修理 車輛部品	45 52 97	24 5 29	100 %転換	資材入手難 仮工場ハ燃焼ニテ 機械設置不可能 ニヨル	
	山陽内燃機関製作所	1,300 1,300	船用焼玉機関	船用焼玉機関	船用焼玉機関	140 50 190	89 7 96	ナシ	主要資材特ニコークス及 油類ノ入手難 食糧事情及熟練工ノ 入手難 戦時中増産ノタメ 機械ノ消耗ノ個所 多キタマ	
	阪神内燃機工業(株) 神戸工場	6,000 6,000	陸船用ターゼル機関 焼玉機関	陸船用ターゼル機関	陸船用ターゼル機関	1,001 91 1,092	733 50 783	ナシ	主要副資材ノ入手難 食糧事情ノ悪化ニ依ル 労働力ノ低下	
	日本発動機(株) 本社工場	4,000 2,000	船用焼玉機関 船用ターゼル機関 陸用焼玉機関	80馬力石油機械 中速型ターゼル機械 高速ターゼル機械 F型550馬力ターゼル機械	船用焼玉機関 軽便ノタメ工場整備中 電動機直結高速 製粉機	579 48 627	100 7 107	二階建木造事務所 一棟全焼等	原材料不足 従業員ノ不足	
	日本発動機(株) 兵庫工場	4,000 2,000	海軍航空機用爆弾本体 金物	海軍航空機用爆弾本体 金物	製糸工事 工作機械修理 発動機製作	123 27 150	73 7 80	ナシ	熟練入手困難 コークス、石灰無	
	鐘淵工業(株) 神戸造船工場	324,000 324,000	焼玉 ターゼル レシプロ	焼玉 ターゼル レシプロ	蒸気機械 製粉機 鋳造	600 130 730	118 4 122	復旧程度 85 %	燃料(特ニコークス、石灰) ノ不足 資金関係	

(千円、人)

表1-3 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	戦時中	戦時中	現在			
神戸	(株)三光造船所 神戸工場	10,000 10,000	鋼製貨物船 船舶修理	鋼製貨物船 船舶修理	鋼製貨物船及油船 各種船舶修理 製材	500 12 512	130 5 135	転換ヲ要セス	80%ノ焼失 復旧ノ事大体完了セリ	労務者ノ不足 食糧ノ不足 船舶ノ決定セザルコト 資材ノ手難
	山陽電気鉄道((株))	30,000 22,500	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	170 30 200	280 35 315	転換ヲ要セス	明石工場破壊焼失	資材ノ手難 資金面封鎖
	(株)星野工作所	500 500				180 65 245	27 6 33		和歌山工場全焼	油ノ配給皆無 食糧不足ノタメ工具 出勤者少キタム
	堀野鉄工所	190 190	漁業用船舶 内燃機	航空機部品 曲軸 気筒調 加工及治具金型	自動車部品	110 60 170	16 3 19	現在進捗中 5%	被害程度 100% 復旧程度 30%	工場建設資金・資材 (木材・釘・セメント・飯) 燃料(石炭・コークス) 運送関係
	(株)山内機械製作所 神戸工場	38,000 26,750	繊維機械 通気機 真空管 電球 K線管球 衡器類	同左	真空管 タンクステン、モリ フテン粉末 向上成品 工具類	1,165 1,419 1,584	479 285 764	20~40%転換済	建物ニ対スル被害 60%	生産資材ノ人手難 被災工場復興資材 入手難
	(株)大神鉄工所	195 195		内燃機関用部分品 船舶部分品	機関車用電気部分品 造船部分品	62 3 65	54 6 60	100%転換済	被害程度 10万円 復旧程度 100%	食糧不足ニヨリ出勤率 低下 資金関係ニテ資材 入手難
	入江工作所	500 500		油圧作動機 航空機部品		200 70 270	13 7 20	転換計画中	全焼 復旧程度 80%	資金難 疎開地ノ工場ナルタメ 地利悪シ 従来ノ仕事ノ性質上 資材難・生産品目ノ 決定ツカズ
	(株)浜田鉄工所	600 600		船舶修理	焼玉機関				被害程度 30% 復旧程度 20%	食糧事情(給食)ノ不足 ニヨリ工具欠勤多キタム
	(資)奥井電気工作所	40 40	発電機 配電盤 電動機加工修理 船舶電気機装工事	発電機 配電盤 電動機加工修理 船舶電気機装工事	発電機 配電盤 船舶電気機装工事	37 12 49	49 9 58		資材倉庫ニ棟焼失	
	王子精機工業(株)	6,625 6,625	模型製作 プレス加工 ピッチ加工(船舶) ホーコン タイカスト 諸機械修理	航空発動機部品 ピストンピン 惑星歯車軸 調整螺 油ポンプ 油圧切損弁 プレス加工	船舶用発動機部品 調整装置資金取付 燃料ポンプ ノズル ストラップアピン 紡績機械部品 諸機械修理 プレス加工	150 180 330	37 3 40	80%進捗中	中ノ島、松原工場 焼失	食糧難ニ依リ工具ノ 作業能率低下 原料資材入手難
(株)石原造船所	600 600	一般船舶 汽機 汽機 内燃機 製造修理	一般船舶 陸軍舟艇 汽機 汽機 内燃機 製造修理	一般船舶 汽機 汽機 製造修理	296 5 301	118 3 122	現在戦前ノ生産種目ニ 復ス 但シ内燃機製造ハ 工場焼失ニ付廃止	新在家、島上、本社 溶接工場全焼	進駐軍ニ接カレ生産 シ得ス 現金尙難ニ依リ資材入手難 食糧不足ニヨリ能力低下 治安不安定ニヨリ残業不能	

(千円、人)

表 1 - 4 兵庫県・機噐器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	戦時中	戦時中	現在			
神戸	(資)東亜機噐製作所	330	航空機部分品 高圧弁 船舶部分品	船舶部分品 航空機部分品 多種生産二付記載不能	客車点灯用発電機 客車客房装置	80	73	進捗率 95 %	一部ノ分工場ニ被害アリ	高物価ニ伴フ結上ノ施費 給食ノ不円滑 燃料不足 金融上ノ障害 インフレニ伴フ労務者ノ異動
		330	船舶部分品	多種生産二付記載不能	客車点灯用発電機 客車客房装置	5	5			
	300	機噐部品 各種金型	航空機部品金型 クラック加工 新設機噐ノ据付属機噐 ノ製作	機噐部品 一定ノモノナシ	50	10	四月一日操業開始ス	全工場 15 %ノ被害	給食ナキコト 物価区々ノタメ買金ノ標準 法定ニ困ル 労務者用住宅ナキコト 交通費高キコト	
	10,000,000 7,500,000	新造船修繕船 船用主機・補機 発電機機噐 陸上機噐 銃器部品 その他	新造船 修繕船 船用主機・補機 船用発電機 その他	新造船修繕 電気ボイラー 蒸気タービン トクタクター 冷凍機噐 その他	16,000 1,000 17,000	5,400 200 5,600	転換率 100 %	被害率 25 % 復旧率 30 %	資材ノ入手難 生産意欲減退 官庁間ニ於ケル体及現物 ノ奪合及事務渋滞 輸送(燃料油)ノ困難 その他	
(株)前田鉄工所	岡崎車体製作所	500	自動車体	兵器部品	車噐部品 人造肥料製造装置部品	23	30	従来ノ作業継続中	工場ノ約70%罹災 約50%復旧	食糧及資材不足ノ為
		500	自動車体	兵器部品	車噐部品 人造肥料製造装置部品	10	2			
(株)前田鉄工所	(株)前田鉄工所	1300	内燃機製造 (船用)	内燃機製造	万能粉砕機	220	25	戦後一般民需用品 製造ニ邁進	全焼 現在工場建設中ナレド 資材入手困難ノタメ 復旧遅々トシテ進マズ	資材入手難 資金関係
		1300	内燃機製造 (船用)	内燃機製造	万能粉砕機	30	5			
帝国精糖工業(株) 神戸工場	帝国精糖工業(株) 神戸工場	500	螺子類 工作機噐部品 兵器部品 その他	螺子類 工作機噐 その他	木工機噐 タレット旋盤 紡績機噐	750	253	60% 戦後残存機噐ヲ 以テ操業着手中	事業資金難 労務者食糧難 副資材取得難	
		500	螺子類 工作機噐部品 兵器部品 その他	螺子類 工作機噐 その他	木工機噐 タレット旋盤 紡績機噐	120 870	19 272			
日本造船工業(株) 本社工場	日本造船工業(株) 本社工場	10,000	1944年8月創立	発動機 給水ポンプ 消防ポンプ 電動発電機 交流発電機	メリヤス織機 相模通電動機 交流発電機 発電機機噐 給水ポンプ 製粉機 金臼	1,166	301	被害程度 50 % 復旧程度 建物二三割 新築中ナルモ資材難ノ タメ意ノ如クナラズ	資金関係 資材、副資材入手難	
		10,000	1944年8月創立	発動機 給水ポンプ 消防ポンプ 電動発電機 交流発電機	メリヤス織機 相模通電動機 交流発電機 発電機機噐 給水ポンプ 製粉機 金臼	230 1,396	49 350			
東和機噐工業(株)	東和機噐工業(株)	600	高速直結ボール盤 紡績機噐 同上・部分品	高速直結ボール盤 砲架砲鞍 諸機噐部品	食糧品加工機噐 破損諸機噐修理	241	38	適当ナル受注未ダ見付 カラズ	工場内製品倉庫ノ一部 焼失	資材及副資材入手難
		600	高速直結ボール盤 紡績機噐 同上・部分品	高速直結ボール盤 砲架砲鞍 諸機噐部品	食糧品加工機噐 破損諸機噐修理	2	0			
山崎内燃機噐(株) 神崎工場	山崎内燃機噐(株) 神崎工場	13,000	小型ゼーゼルエンジン 中型 大型	小型ゼーゼルエンジン 中型 大型	小型ゼーゼルエンジン 主要部分品	1,080	141	100%転換済	機噐設備 37 % 建物 59 %	外注工場ノ未稼働 石炭、コークス不足 食糧不足ニヨル従業員 募集難
		13,000	小型ゼーゼルエンジン 中型 大型	小型ゼーゼルエンジン 中型 大型	小型ゼーゼルエンジン 主要部分品	145	4			
日本内燃機噐(株) 尼崎製造所	日本内燃機噐(株) 尼崎製造所	25,000	21,250	25,000 21,250	25,000 21,250	600	111	約90台(14%操業)ノ 機噐數ヲ運転シ主トシテ 修理等ノ生産ヲナス	ナシ	資材副資材等一部現金ヲ 請求シ又封鎖預金引出困難 ナルタメ正常運転困難 食糧不足ノタメ労務者充足 困難
		20,000	20,000	20,000 20,000	20,000 20,000	886	45	転換済	ナシ	従業員不足
(株)大政機噐製作所 尼崎工場	(株)大政機噐製作所 尼崎工場	20,000	20,000	20,000 20,000	20,000 20,000	886	240	転換済	ナシ	従業員不足
		20,000	20,000	20,000 20,000	20,000 20,000	45	8			
						931	248			

表1-5 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金		主要生産品目		労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
		戦前	戦時中	戦時中	現在	戦時中	現在			
尼崎	日立製作所 尼崎工場神崎工場	起重機部品	起重機部品 電気機械修理	電気機械修理	現在	46 11 16 57	46 11 16 96	転換済		揮発油その他脂油類と綿糸ノ入手難 労働者加配ナキタメ 作業衣入手難
	(株)浄水工業所	硬水軟化機 濾過機 連経缶水吐出装置 揚水機	硬水軟化機 連経缶水吐出装置 揚水機	硬水軟化機 連経缶水吐出装置 揚水機 機械器具	現在	28 7 35	16 5 21	従来ノ製品以外機械化 農機具ノ製作ニ着手	全焼	主資材、副資材入手難 工場未完
	金井重工業(株) 尼崎工場	トラバラー 糸道類 針 リング 刺巻 その他織維製品	航空機部品 トラバラー 糸道類 針 リング 刺巻 その他織維製品	トラバラー 糸道類 針 リング 刺巻 その他織維製品	現在	104 56 108 160	201 108 309	65%転換	僅少部分焼失	燃料不足 溶接用・焼入用酸素ノ不足
	木村精鍛機械工業所	蒸留機 回収機 反芯機 結晶機 乾燥機 冷却機 耐酸ポンプ	小型容器 銅張製品 21町車輪銅張 12町車輪銅張 タンク銅張 銅管	銅管 銅板	現在	146 15 161	264 23 287	転換ヲ要セス	一棟全焼 現在銅板工場増築中	銅板工場増築中ナレ共 諸資材不足ノタメ円滑ニ ユカズ 工具不足
	(株)関西鋳鉄所	鉄道車輛部品 ジャッキ クロック 船舶部品	船舶部品 救急ハルブ 車輛部品 ジャッキ	船舶部品 救急ハルブ 車輛部品 ジャッキ	現在	105 15 120	120 50 170	戦後無休 転換操業続行中	大阪本社 尼崎工場 全焼	石炭入手困難
	東亜ハルブ(株) 立花工場	弁及嘴	弁及嘴	弁及嘴	現在	110 4 114	450 30 500	転換ヲ要セス	10%ノ被害アリタルモ 現在ハ復旧ス	燃料不足 労務不足(特ニ木製工、 鋳物工、仕上工) 輸送能力不足
	橋本農工(株)	自動車部品	船舶用ハルブ 自動車部品	ラジオ部品 電気器具 自動車部品	現在	15 5 20	20 5 25	100%転換済	ナシ	操業資金ノ運用困難 材料工具類ノ入手難
	東邦輸送(株)	エレベーター コンベヤー	エレベーター コンベヤー	エレベーター	現在	97 8 105	185 24 209	転換ヲ要セス	ナシ	各種資材入手難
	三和特殊製鋼(株)	耐酸ポンプハルブ類 セメント、硫安肥料 製造用耐酸機器類	耐酸ポンプハルブ類 セメント、硫安肥料 製造用耐酸機器類	セメント製造用キルン 部分品 耐熱特殊鋳鋼 硫安化学肥料用 耐酸ポンプハルブ 一般化学工業用機械	現在	53 3 56	138 6 144	戦前ノ約35%程度操業中 ナルモ諸条件不備ノタメ 復旧遅シ	被害程度 15万円余	事業資金抑制 好修理用資材その他機械 入手難 各部門労務員不足 石灰、コークス等燃料
	尼崎精工(株) 本社製造所	信管器具 マイクログロメータ	水砲部品 信管器具 硝口器具 電気高射標準具 その他	電気コンロ 配管器具 電気器具 印刷機械 農耕用電動機	現在	498 225 723	1,663 385 2,048	転換完了ス	建物22棟 機械設備 875台(壊損セルモ六凡 復旧セリ)	食糧不足 資金難ノタメ 原料類入手難 熟練工不足 外注部品欠不調

(千円、人)

表1-6 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 私込資本金		主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
		戦前	戦時中	戦時中	現在	戦時中	現在				
尼崎	(株)久保田鉄工所 武庫川工場		63,000 42,750	平削盤 ローレル旋盤 線削盤 瓦斯弁 特殊弁 鉋山機械 ローラー輸送	粉砕機 瓦斯弁 制水弁 製材機	386 17 403	141 6 147		鋳物工場 7割ノ被害 機械工場ハ被害僅少 ニシテ復旧作業中	ワークス入手難ニテ銑鉄 鋳物入手難 工具住宅不足ノタメ熟練工 ノ吸収出来ズ	
	特殊発條興業(株)	150,000 150,000	ばね ばね座金	現在ハ機械輸送中 ナリシタメ見ルベキ 生産モナカリシ		114 31 145	21 8 29	ナシ	ナシ	砲間機械輸送困難ノタメ 工具給食事情 部分品工具等購入難	
	久々知工作所	300 300	スビンドル 防油機 ナイールブローカー 松根金	油入遮断器 ク製品 車輛部品		114 55 169	61 2 63	ナシ	ナシ	工具不足 資材不足 燃料不足	
	大和金屬工業(株)	3,000 3,000	高圧ガス容器 航空機搭載用小型高圧 ガス容器 砲弾射出加工	高圧ガス容器 航空機搭載用小型高圧 ガス容器 砲弾射出加工		246 60 306	64 8 72	ナシ	ナシ	水圧プレス工場操業ニ 対シハソッキョク類ノ入手難 機械油ノ不足	
	(株)旭金屬工業所	500 500	信管部品 自動車中袋 空気弁 自動車中袋	自動車中袋 自動車中袋 空気弁 地下足袋コハゼ		190 412 64 602	38 64 102	被害 90%	被害 90%	食糧 資金関係 資材入手難	
	日本鍛工(株) 尼崎工場	30,000 25,125	航空機部品 車輪車用品 その他一般(各鍛造品)	航空機部品 魚雷部品 その他兵器(各鍛造品)	自動車用部品 農用発動機部品 その他型鍛造品	1,029 120 1,149	42 0 42	被害程度 復旧完了	被害程度 復旧完了	資材(鉄中石炭油脂ノ入手 困難) 労務者ノ充足意ノ如クナラ サルタメ	
	電燈工業(株) 神崎工場	6,000 6,000	各種金屬切削器具 特殊鋼	各種金屬切削器具 各種兵器部品 特殊鋼	各種金屬切削器具 各種農工器具 特殊鋼	460 270 730	102 0 102	被害程度 設備ノ50%	被害程度 設備ノ50%	燃料(石炭、ワークス)入荷 不足 売却金等ノ債権未収入 資材入手難 食糧不足ニヨル労力ノ不足	
	大同製鋼(株) 尼崎工場	132,000 82,500	空爆ニヨリ書類焼失	特殊鋼 普通鋼 普通鋼丸鋼 特殊鋼丸鋼 亜鉛鋼	特殊鋼 普通鋼 丸打 亜鉛鋼 亜鉛鋼	1,200 50 1,250	664 66 730	被害 復旧程度 製釘工場 20%	被害 復旧程度 製釘工場 20%	食糧事情ノ悪化 措置金ニヨル資金的障害 石炭入手難 従業員ノ生活難	
	東洋鋼業(株)	500 500	鋼材圧延 粉砕用ボール 鉄道車輛部品 自動車自動車用部品 その他鋼造型打	魚雷付属鋼材圧延 航空機用部分品鋼材圧延 航空機用部分品型打製造 鉄道車輛部品 機械器具 粉砕用ボール	粉砕用ボール 農機具及工具 鋼材圧延 その他鍛造型打	120 0 120	45 6 51	被害ナシ 但シ風水害ニテ資材 流失浸水ニテ多大ノ 損害蒙レリ	被害ナシ 但シ風水害ニテ資材 流失浸水ニテ多大ノ 損害蒙レリ	鋼材入手難 燃料供給ナキタメ生産 出来得ズ	
	金井重要工業(株) 立花工場	8,000 8,000	鉄線 鋼線 針布線 真中線	鉄線 軟鋼線 高炭素鋼線 針布線 ハネ用鋼線 ピアノ線	鉄線 真中線 軟鋼線 針布線 ピアノ線 電熱線	184 71 255	68 17 85	60%転換済	60%転換済	労務不足 副資材入手難	

(千円、人)

表 1-7 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
		公称資本金 払込資本金	車輦部分品 諸機械用品 半田	ケープルハンガー 架線金物 薄鋼板 亜鉛引鉄板 ブリキ板	ケープルハンガー 架線金物 ステンアータイト	車輦部分品 半田 諸機械用品 非鉄金属製錬			
尼崎	(株)根原金属製錬所	150 150	ケープルハンガー 架線金物	ケープルハンガー 架線金物	車輦部分品 半田 諸機械用品 非鉄金属製錬	43 5 8 65	100%転換済	ナシ	事業資金現金引出現難 燃料 労務者用主食副食物配給 ナキキタム 原料
	旭架線金具製造(株)	300 300	ケープルハンガー 架線金物	ケープルハンガー 架線金物 ステンアータイト	ケープルハンガー 架線金物	17 25 42	大阪築港工場ノ機械 引取約5割整備復旧済	当工場7%焼失	金融措置令ニヨル主タル 原材料以外ノ買付資金不申出 燃料及ヒ油類購入困難
	(株)中山製鋼所 尼崎工場	90,000 60,000	薄鋼板 亜鉛引鉄板 ブリキ板	薄鋼板 亜鉛引鉄板 鋳物 薄鋼板第二次製品	休止中	76 2 78	ナシ	ナシ	
	阪神電気鉄道(株) 車輛修理工場	75,000 75,000	電車ノ修理	電車ノ修理	電車ノ修理	220 27 247			
	阪神電気鉄道(株) 浜田車庫	95,000 75,000	電車ノ修理	電車ノ修理	電車ノ修理	36 2 38	転換ヲ要セス		
	錦洲機械工業(株) 尼崎工場	15,000 3,509	精紡機部分品 ハイスビード機	山砲及部品 美砲砲定機 噴口棒 発動機部品	精紡機 ハイスビード機	522 91 529		組立工場、倉庫、油倉、 事務所、宿舍等全焼	倉庫焼失ニヨル手持資材 不足 資材購入ノ困難 宿舍焼失ニヨル工員ノ減少
	(株)中島製作所 松瀬工場	2,000 2,000	蓄電池機関車 蓄電池運搬車 電気自動車	蓄電池機関車 蓄電池運搬車 電気自動車	電気自動車	200 20 220		被害僅少ニシテ生産 ニ支障ナキモ修繕ニ 用フル資材入手難ニシテ 当分ノ間修繕セス	鉄鋼類ノ入手難 燃料 タイヤ 電線 食糧不足
	東洋精機(株) 鉦工場	4,500 4,500	鉄工用炉	鉄工用炉	鉄工用炉	52 18 70	転換ヲ要セス	被害程度 20%	資材及ヒ副資材共ニ 入手困難
	東亜鋳鋼(株) 神崎工場	1,200 1,200			鉄道車輛部品 電車モーター部品	51 24 75			副資材入手困難 求職支給困難
	(株)帝國鋳鋼所 神崎鍛造工場	6,500 6,500	兵器部品	兵器部品	林業部品 石炭用機器	160 25 185	目下進捗中	50%完了	食糧、油、石炭不足
	(株)日立製作所 松瀬工場	700,000 700,000							
	延原製作所 神崎工場						全焼ノタメ転換困難ヲ極メ 居レリ	全焼	
	特殊産業(株) 尼崎製作所	7,000 7,000	高圧空気唧筒 航空機油圧部品 型鍛造	型鍛造		16 0 16		寄宿舎、教室、倉庫及 工場ノ一部ヲ焼失	燃料(コークス)入手困難
	(株)大阪電機製作所 武庫川工場	250 250	電圧計 電流計 アスター	電圧計 電流計 アスター	電圧計 電流計 アスター	108 60 168			

(千円、人)

表 1-8 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	戦時中	現在	戦時中			
西宮	錦洲機械工業(株) 西宮工場	15,000	航空機主脚 尾脚	ナン	ナン	550	33	昨年9月進駐軍宿舍及 自動車修理工場トシテ接収 サレ又軍政部駐在ノタメ 全機械設備ノ移転ノ命ゼラル	ナン	左記事情ニヨリ目下生産 中止中
		1,500	船舶修理 冷凍機	冷凍機 自動車ポンプ 電気アイロン 電気洗濯器 バリカン 電熱器 氷割器	106	210	246	転換届提出済	本社工場3割被害 神戸工場10割被害 復旧済	主資材及副資材ノ入手難 金融関係 食糧事情 通信交通機関ノ復旧遅延
	菅電機(株) 作業部工場	750 750	電気設備施工請負工事	電気設備施工請負工事	電気設備施工請負工事	175 3 180	86 3 89		復旧ノ鳴尾製作所 附近ニ設置営業中	現在ノ処ナシ
	(株)川崎電機工作所	2,000 2,000	扇風機 子エンジンプロック 送風器	航空機部品 子エンジンプロック 送風器	扇風機 小型モーター 電熱器 子エンジンプロック	460 315 775	97 24 121		被害程度 100 % 復旧程度 約20 %	資材入手難 食糧事情劣迫 経済事情ノ不安定 その他人心動揺等重大 ナル原因アリ
	日本産業機械(株)	500 450	砲弾加工並ビニ航空機用 合成ゴム製造機器	砲弾加工並ビニ航空機用 合成ゴム製造機器	一般化学機械 醸造用機器並ビニ修理	90 15 105	50 0 50	工場一部復旧成り	工場全壊敷地面積 1865.3坪	主要資材並ニ副資材ノ 入手難路ニ依ル
	川西航空機(株) 本社	60,000 37,500	本社業務	本社業務	印刷 病院 工務店	3,150	281			
	川西航空機(株) 鳴尾製作所	60,000 37,500	大型飛行機 木製プロペラ 機械部品 動力銃架その他	局地戦闘機 木製プロペラ	米櫃 車輛 車輛モータ修理 自動自転車 小型発動機 齒車	21,450	219		有 75 %	賠償関係未確定ノタメ 恒久企業ニ使用シ得ベキ 場所、設備機械確定セサルタメ
	川西航空機(株) 甲南製作所	60,000 37,500	中型攻撃機 大型飛行艇	中型攻撃機 大型飛行艇	米櫃 釜 下敷 バックル スキ焼○ 電気製塩	7,084	○		相対ノ被害ニシテ 完全ナル建築物ナシ	
	川西航空機(株) 宝塚製作所	60,000 37,500	補機部品 (ポンプ類) 銃架 機械部品	補機部品 (ポンプ類) 銃架 機械部品	自動三輪車・自転車製作中 小型発動機 齒車 電気暖炉 電熱器	14,614	178		被害 80 %	転換許可未着
	日本水力工業(株)	5,000 5,000	タービンポンプ 渦巻ポンプ	タービンポンプ 渦巻ポンプ	タービンポンプ 渦巻ポンプ	125 115 240	148 55 203		50 %	生糸 (ヤマ) 素材ノ取得難 鋳鉄 コークス
	(株)中田製作所 三田工場	1,000 1,000	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	70 45 115	95 2 97		砲災被害ハ僅少ナルモ 風水害被害ハ金額 25万円程度ニテ目下復旧 事業中	資材入手難 鋳鉄 コークス 諸油類 その他雜品不足

(千円、人)

表 1 - 9 兵 庫 県 ・ 機 械 器 具 工 場 の 現 況 調 査 (1 9 4 6 年 4 月 1 日 現 在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
西宮	(株)土井正機製作所	2,000 2,000	粉砕機 製粉機 精白機	輸送駆進軸及付属品 上陸用機軸部品 手巻上銅機 粉砕機	粉砕機 精白機 粗碎機 製粉機	280 45 325	120 6 126	50%転換	全焼 復旧程度 50%	資材、副資材入手難 輸送ノ不円滑 工員給食不足ニヨル火動 工具支給品ノ不足
	中南製材工具製作所	2,500 2,500	製材用丸鋸機 〃 弓鋸機 〃 丸鋸 〃 帯鋸 金切弓鋸刃 金切弓鋸刃	金切丸鋸機 〃 帯鋸機 〃 弓鋸機 〃 丸鋸 金切弓鋸刃 製材用丸鋸	製材用丸鋸機 〃 帯鋸機 〃 丸鋸 〃 弓鋸機 金切弓鋸刃	189 78 267	91 25 116			
関西製作所	関西製作所	1,000 1,000	重板巻機 自動車部分品 付属品	航空機用軸受 鋼材熱処理 重板巻機 自動車部分品付属品	農機具 スプリング	230 120 350	68 15 83	無	無	主要資材入手難 素材入手難
	東京芝浦電気(株) 神戸工場	622,000	船舶用無線電信 装置修繕	船舶用無線送信機	漁業用無線機 批声装置 測定器類	156 53 209	54 22 76	転換ノ要セス	焼失建物 6 棟	資金面 資材入手難 労務者ノ住宅、食事情 燃料不足 (特ニ石炭) 食糧不足
伊丹	旭工機製造(株)	712 712	貯蔵槽 家庭用厨房用品 化学器械	厨房用品 化学器械	農機具 浴槽 厨房用品	210 20 230	156 20 180		被害ナシ	食糧、労務不足 主資材 (鉄鉄、鋼材、特殊鋼 ノ不足) 副資材 (鋳造用コークス、石炭、 機械油)ノ不足
	鐘淵機械工業(株)	15,000 15,000	スピンドル リング ローラー トラペラー その他	航空機部品 (発動機) 主要部分品	スピンドル リング ローラー トラペラー	200 300 500	198 91 289		被害ナシ	
(株)神津製作所	(株)神津製作所	4,000 4,000	紡績機械 (糸巻機械)	航空機部分品	紡績機械 建築資材 木工機械	822 617 1,439	127 4 131	無シ	無シ	資材入手不円滑 運転資金調達難 労務者給食ノ困難
	昭和精機工業(株)	400 400		航空機用発動機部品 プロペラー部品 機体部品 整備用工具	自動車、三輪車用 トランスミッション 紡績機部品	231 139 370	176 5 181	30%		
金井重工業(株) 伊丹工場	金井重工業(株) 伊丹工場	8000 8000	綿紡針布 毛紡針布 その他針布	綿紡針布 毛紡針布 航空機部品 燃料槽 防弾槽	綿紡針布 毛紡針布 その他針布	120 60 180	39 39 78	20年10月ヨリ21年4月マテ 運駐重全工場ヲ使用シ 居レリ	被害ナシ	終戦後熟練工ノ不足ニ依リ 目下針縫工ノ復舊ヲ勧誘 シツツアリシモ充分ナル成果 ヲ見ズ 目下、養成ヲナシツツアリ 従 テ之レヲ指導者ノ不足ヲ来シ 居ル現況ナリ
	(株)藤野アイゼル工業 伊丹製作所	750 750	駆削フライス盤 横中グリ盤	海軍特攻兵器 減速装置	アルドナー ミッジョン	280 8 288	87 87	昭和21年1月11日連合軍 第1軍団司令部ヨリLG511号 ヲ以テアルドナーミッジョン ヲ製作中ナリ	戦災ナシ	
日本精密工具(株)	日本精密工具(株)	2,000 2,000	タツブ タイス ケーソン	タツブ タイス ケーソン	タツブ タイス ケーソン	360 160 520	135 25 160	無シ	無シ	熟練工具ノ不足 隣機油、軽油、切削油 等ノ配給ヲキタメ
	三菱電機(株) 伊丹製作所	120,000 120,000	航空計器 無線機 送配電器具 送配電器具 〃 制御機	航空無線機 航空計器 送配電器具 水銀整流器 電気整流器 電車制御機、制御器	送配電器具 電解槽 送配電器具 電車用電動機 電機整流器	3,000 600 3,000	1,114 196 1,310	転換済	ナシ	燃料及副資材入手困難

(千円、人)

表1-10 兵庫県・機械器具工場の現況調査(1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
伊丹	大阪機工(株) 猪名川製造所	66,000	工作機械	紡織修理	760	紡織機械製造及修理ノ 転換ハ略完了シタルモ 別記産路ノタメ製造約20% 修理約90%ナリ	従業員食料問題 輸送難 石灰、コークス等燃料 不足 資金調達難	受注額見返ニ依リ対銀行 融資方懇請中 特ニ工場給食復旧願ヒタシ		
		35,250	陸軍砲 海軍砲 砲彈	電動機	3,600 130 3,730	65 825				
	(株)精機工業所	1,000	歯車減速装置 歯車	歯車減速装置 歯車	568 105 673	150 70 150	被害ナシ			
	伊丹産業(株) 本社工場	5,000	農具機械 約練機械	爆弾外殻	勤 支那鍋 フライパン 自転車空気入 ストロー	916 221 1,137	101 15 116	倉庫一棟全焼 復旧工事実施シオラズ	資材原料ノ調達難 資金調達難 輸送困難 労務者調達難	
(株)精機工業所	1,000	1,000	歯車減速装置 歯車	航空発動機用歯車 歯車減速装置	航空発動機用歯車 歯車減速装置	568 105 673	150 0 150	ナシ	事業資金、特ニ新門不足ニ 依ルモノ 労務要員ノ不足 工場給食ノ休止	
										800
	4,000	銃銃 鋳物	銃銃 工作及鍛圧機 鋳物	144 31 175	375 45 420	製材工場 全焼 倉庫 1棟全焼	無			
	7,000	7,000	航空機部品 その他車輛部品	製粉機鋳物 制輪子 トラック用車輪 農耕用物 プレス機用発動機部品	40 220 260	40 95 135	無	資材入手難		
明石	月園工業(株) 神崎製作所	108,000	航空発動機	電車車体修理	926 642 1,568	83 24 107	30% 復旧程度 0%	食糧事情ニヨリ工員ノ勤労 低下 優秀工員ノ募集難 燃料不足 資材不足 (強御買上ノタメ)		
		54,000	航空機部品	航空発動機	250 100 350	240 30 270	一部罹災 復旧作業中	主要資材タル砲彈板ノ 生産低下 入荷甚低 工具類等金細関係ニ依ル 入手難等		
	300	300	シヤベルスコップ 農具 工具 航空機部品治具 ノルハン 木柄 銅塊	シヤベルスコップ 農具 ツルハシ 木工具 木柄	80 15 95	90 61 151	無	適資材入手困難 資材ノ入手時期ノ不適正		
	3,000	750	小型自動秤 普通台秤 特殊秤量機 各種試験機	小型自動秤 普通台秤 特殊秤量機 各種試験機	299 35 334	98 7 105	有 40%被害 木材及硝子不足ノタメ 復旧意ノ如クナラズ	資材入手難 工場土建関係復旧ノ不如意 食糧事情		
明石自動車工業(株)	180	180	自動車修理加工 各種機械部品	自動車修理加工 各種機械部品	25 0 25	53 1 54	全焼	資材入手困難 封鎖支払ノタメ		

(千円、人)

表1-11 兵庫県・機械器具工場の現況調査(1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	戦前	主要生産品目		現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
				戦前	戦時中		戦時中	現在			
明石	錦湖工業(株) 高砂造機工場	324,000 266,120	綿布	F6型ターゼル主機械	500馬力ERS型主機械 向上主復水器 織機修理	233 544 490 98 331	無	無	技術工員ノ不足		
	(株)川西機械製作所 大久保工場	38,000 26,750	通信機 真空管 化学薬品 その他	送信用真空管 X線管 超短波送受信機 短中波送受信機	1,000 600 1,600	70%転換済	水害ノタメ機械等ノ 被害甚シ 復旧程度 60~70%	原材料不足 (タンクス、ステン、モリブデン) 燃料(石炭)ノ不足 硝子吹込工ノ不足			
	東亜金属工業(株) 魚住工場	16,500 16,500	繊維機械	船舶部品 航空機部品	抜根機	450 150 600	進捗率 100%	魚住工場 建物5% 神戸工場 建物設備 100%	コークス、カーバイド、酸素 等副資材入手難 直接資材入手難 復旧資材入手難		
	三重工業(株)	3,000 3,000	車輛並部品 海軍部品	陸軍 車輛並部品 海軍部品 ラヂオエーター	船舶用部品 農機具 機械修理	271 57 328 151	完全転換	ナシ	資材不足		
	(株)神戸製鋼所 大久保工場	700,182 700,182	切削工具類 瓦斯分離装置	切削工具類 瓦斯分離装置 鋸素(時価ニ依ル肥料 製造用)	切削工具類 瓦斯分離装置 鋸素(時価ニ依ル肥料 製造用)	1,403 735 2,138	転換操業中	ナシ	工具部門ハ素材ノ入手不如意 機械部門ハカーバイド不足 転換用機器ノ不備		
	(資)大和製鐵(株)	186,000 151,000	製紙機 製糖機 紡績機 その他化学工業用機械	発動機分解台 工場用発動機工具 野外用発動機工具 飛行機特殊器具	化学肥料機 紡績機 農機具 和洋家具 製粉機	102 58 160 62	100%転換済	ナシ	金融関係ニテ資材入手至難		
	大和製鐵(株)	3,000 750	小型自動秤 普通台秤 特殊秤台機 各種試験機	同左	小型自動秤 普通台秤 特殊秤台機 各種試験機	299 35 334	転換済	被害程度 40% 資材入手難ニテ復旧 意ノ如クナラズ	資材入手難 工場土建関係復旧ノ不如意 食糧事情		
	東亜金属工業(株) 土山工場	5,016 5,016	軽合金鍛造品 軽合金鋳造品 工作機械	軽合金鍛造品	円板ハロー 円板鋸 小農機 電熱器 電熱器	471 363 834		被害 40% 復旧 70%	副資材入手難 直接資材(薄鉄板、亜銅) 入手難 工場復旧建設資材入手難		
	印南産業(株)	1,200 1,200	バルブコック ボルトナット 一般部品	バルブコック 切換弁 航空機機体金属部品	溶化装置 バルブコック 水道用品 暖房用品	500 120 620 30		神戸市内外近工場 加古川工場全焼	資材入手難 燃料入手難		
	川崎重工業(株) 二見工場	300,000 150,000	東洋紡績ヨリ紡績業	航空発動機	航空発動機	3,804 412 4,216	13 0 13	東洋紡績ニ工場返還 ノタメ転換セズ			
	振興工業(株)	2,500 2,500	高射砲弾			750 280 1,030		専用設備ニ付転換出来ズ 目下休止中			
	錦湖紡績(株) 明石造機工場	2,800 2,800	煉球機 蒸気機 その他船舶用機械	煉球機 蒸気機	工場閉鎖						
田能汽罐製造(株)	15,000 15,000	蒸気罐 つねきち罐 八瓶罐	船舶中種 つねきち罐 八瓶罐	蒸気罐 つねきち罐 八瓶罐 駱駝罐	1,200 40 1,240	394 9 403	100%転換済	尼崎工場 被害100% 播磨工場 ナシ 神戸工場 100%	電圧ノ低下 コークス、油類等副資材 ノ不足 輸送ノ渋滞		
日本造機工業(株) 古川製作所	10,000 10,000	牽引車 発着兵器	鉄道車輛部品 農耕機	鉄道車輛部品 農耕機	216 112 328	272 15 287	転換済	工場一部被災 復旧程度 80%	コークス石炭 その他副資材ノ入手困難 熟練工不足		
山中電機(株) 明石工場	2,000 2,000	ラヂオ受信機	通信機	電気製罐目下準備中	27 33 60		70%転換済				

(千円、人)

表1-12 兵庫県・機械器具工場の現況調査 (1946年4月1日現在)

(千円、人)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
姫路	日本電機工業(株) 飾磨工場	300 300	電動機 変圧器 航空機用電気部品 特攻兵器部品	電動機 変圧器 航空機用電気部品 特攻兵器部品	電動機 変圧器 その他電導工具 電熱器具	40 32 72	90 48 138	ナシ	戦災有無程度	資金調達ノ不円滑 資材入手難
	(株)神戸鋳鉄所 播磨工場	3,500 3,500	鋳型並定盤 船舶用補機類	鋳型並定盤 船舶用3BRS型500馬力 ピストン主機械	鋳型並定盤 車軸用鋳物	640 160 22 800	169 191	戦時中ト何ラ変化ナシ	ナシ	ワークス不足
	(株)風采機械製作所	1,500 1,500	船舶用諸機械及部 製紙用諸機械及部 紡績用諸機械及部 織造用諸機械及部	船舶用3BRS型500馬力 ピストン主機械	船舶用3BRS型500馬力 ピストン主機械	198 99 297	120 14 134	建物 60% 機械 40% 現在機関工場ノ生産 機能ノ主体トシ復興 設備ノ拡充中	60% 40%	事業資金不円滑 生産設備ノ既行的不備 資材所要量ノ不足 熟練工ノ私底
	川西航空機(株) 姫路製作所	60,000 37,500	局地戦闘機	局地戦闘機	金属家庭用品 自動車修理	1,431	250	進捗程度 40%	全焼	保守ノ指令ヲ受ケ工作機械 ノ移動使用ヲナシエス
	河部農機(株)	550 550	脱穀機 中耕除草器 毛羽取器	舟艇部品 火砲部品	脱穀機 粗碎機 農用車 粉砕機	503 288 791	438 56 494	戦前ヨリ農機具ノ製作ニ 従事セシタメ転換ノ要ナシ	ナシ	資材入手困難 輸送困難
	(株)山本鉄工所	800 800	船舶用諸機械及部 製紙用諸機械及部 紡績用諸機械及部 織造用諸機械及部	船舶用諸機械及部 舟艇用部品	万能粉砕機 押送ローラ機 各種製材機	132 19 151	67 0 67	100%転換	本社工場全焼	主材料ノ入手難 熔鋼用ノワークスノ入手難 カーバイドノ入手難 マシン油等ノ入手困難ニシテ 機械運転不能
	青木鉄工所	800 800	船舶部品 土木建築 橋梁瓦葺 鉄塔	船舶部品 船舶内火機部品	船舶部品 農用機械器具	150 10 160	46 2 48	50%進捗		燃料不足 材料不足
	家島内燃機(有)	114.5 114.5	船舶内燃機関製作修理	船舶内燃機関製作修理	船舶内燃機関製作修理	10 0 24	24			電動力、燃料、食糧、 作業式不足
	山本電機工業(株)	120 120	船舶用発電機 配電盤	船舶用特殊スイッチ 電機部品加工 船舶用発電機 配電盤	電動機修理 トランス修理 無線機修理 船舶用発電機 配電盤	110 16 126	47 5 52		全焼 復旧程度 三棟ノ内 二棟稼働ス	資金不足 資材入手難 (新門弘ノタメ)
	(株)尾上機械製作所	500 500	製塩用諸機械	製塩用諸機械	製塩用諸機械	69 71	80 0		ナシ	職工主賃ノ欠乏 (特ニ労務者加給米ノ欠如) 材料購入ニ際シテ現金不足
	東京芝浦電気(株) 網干工場	622,000 466,500	直流発動機 配電盤 電気炉 溶接機 送電選別機	直流発動機 配電盤 電気炉 溶接機 送電選別機	開閉器 家庭用電熱器 農用誘導電動機 電モーター 足踏機	1,501 1,014 2,515	1,483 158 1,641			資材、燃料ノ不足 適応機械ノ不足 熟練工員ノ不足 資金関係
	日本機械製鋼(株) 播磨工場	1,500 1,500	鋼鎖付属品	鋼鎖付属品	鋼鎖付属品	130 145	68 8 76	転換中		特殊鋼ノ不足 副資材及石炭ノ不足
	シエア一産業(株)	4,500 4,500	冷凍器	冷凍器	冷凍器	2,457 217 2,674	30 30	昨年9月米軍ニ接収サレ 土地建物全部失ヒタリ 依旧大阪陸軍造兵廠 白浜製造所ニ於テ民需 転換スト設備ソノ他変化 ナシ	左ノ通りナレバ記入 スベキ事項ナシ	
	(株)神戸鋳鉄所 播磨工場	350 350	鋳型 定盤	鋳型 定盤	鋳型 定盤	640 160 800	175 31 206		無	ワークス不正ノ為
	(株)播磨造船所 (松浦工場ヲ含ム)	6,000 3,750	新造艦船 修繕艦船 その他 主機補機 缶、その他	新造艦船 修繕艦船 その他 主機補機 缶、その他	新造船 修繕船 その他 主機補機 缶、その他	19,482 1,233 20,715	3,556 292 3,848	被害程度 10%	被害程度 10%	主要資材、補助材料等ノ 不足 主賃、副食物ノ不足

表 1 - 13 兵 庫 県 ・ 機 械 器 具 工 場 の 現 況 調 査 (1946 年 4 月 1 日 現 在)

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在			
豊 岡	豊岡重工業(株)	198	舞鶴工廠受託品	大阪鉄道局プレーキ シュート車輛部品 鋤先及一般農具 魚吊り重り一般漁具	30	33	100 %	無	ワークス入手難	
		198			9	3	36			
	郡是工業(株) 業父工場	23,667	水製航空機補助翼	製糸機械 家具類	90	75	100 %	無	資材不足 主食配給ナキタメ	
		23,667			320	200	275			
	郡是工業(株) 八鹿工場	23,667	航空機部品	製糸機械部品 フライ鍋 洗面器 弁当箱	663	99	設備機械ニ依ル転換率 65 %	無	粗材入手難	
		23,667			1,292	92	191			
	八鹿鉄工(有)	90	呉海軍工廠電気部分品	小農器具 (鍬、備中その他)	53	49		無	燃料不足 副資材中ペルト不足	
		90			21	5	54			
	但馬鉄工(株)	1,980	発動機分解台及び 航空機部品 船舶部品	器具(鍬、鋸、脱穀機 除害機等) 各種機械器具 製作組立修理	70	66	100 %	無	金融措置令ニヨル事業資金 払出難並に諸物資購入難 薄鋼板入手難 カーハイト入手難 資材輸送難	
		1,980			9	2	68			
但馬造船(有) 津居山工場	196	標準型計画木造船	漁業用発動機船 並業業用小舟艇	56	32		無	食糧事情ノ逼迫ニ依リ 農漁等或程度ノ自給自足 ヲ目シテ久勤者繰出 尚長時間ノ作業ニ耐ズ能率 低下		
	196			2	2	32				
武田化工機器製作所	850	陶製手榴弾 耐熱熱化学磁器 井	電気用器具 配線器具 和飲食器	45				封鎖現金入手不可能 地方銀行支店ノ行キスキ措置		
	500			18	63					
東播鉄工(株)	198	航空機 整備兵器	農機具 家庭用品 一般機器 修理加工	90	55			事業資金ノ不円滑 資材ノ入手難 外注品部品入手難		
	198			30	0	55				
播磨工業(株)	180	計器部品 発動機部品	家庭器物 農機具 池上コクネター	33	36	100 %	無	主資材及び副資材ノ入手 困難ノタメ生産稍ヤ不充分 ナル傾向アリ		
	180			14	12	48				
東洋電機(株) 石生工場	2,000	1943年12月迄絹織物 44年1月ヨリ特殊電磁器	絹織物	20	40	完	無	材料入手ルーノ不明 資金難		
	2,000			96	12	52				
(株)大島製作所	198	BA底板 機関銃部品	ベルトハンマー 研子機	24	26	転換進捗中ナルモ所要 資材入手困難ナルタメ 100 %採集ニ至ラス	無	資材及副資材ノ入手困難 ナリ及資金球金化出来サル タメ生産阻害ス		
	198			24	33	7				
川崎航空機工業(株) 北條工場 (播州衛車製作所)	300,000	航空発動機用歯車	紡織機用歯車 自動車用歯車 漁船用歯車 一般機械用修理歯車	2,020	69	転換ニ許可セラレタル 機械設備ハ90 %整備完了 セリ	無	各種油類及燃料入手至難 住宅ノ不足		
	300,000			504	4	73				
大興通信機(株) 社工場	198	船舶無線通信機及部品 電波器箱体及部品	鉄道保安装置及部品 電話機交換機及部品 有線無線通信機及部品	215	63	100 %運転中	大阪本社工場被災 ニヨリ全焼	主要資材ノ入手不能ノ為ニ ニヶ月後ノ操業見込ナシ 副資材ノ入手不能 労務者不足		
	198			186	11	74				

(千円、人)

表1-14 兵庫県・機械器具工場の現況調査(1946年4月1日現在)

地区別	会社工場名	公称資本金 私込資本金		主要生産品目			労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産阻害事情
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在					
西脇	山陽利器(株)	1,500	播州鎌	播州鎌	播州鎌	1,730	80%	無	無	主要資材及副資材ノ 入手困難	
		1,500	機械鉋 皮革ナイフ	機械鉋 皮革ナイフ	機械鉋 皮革ナイフ	1,257 298 1,555					
	田中榮吉製作所 金星工場		各種鉋 剪定鉄 木鉄 池の坊鉄 丁鉄	鉋	鉋	45 20 20 65					
		2,000 2,000	東洋電気(株) 成松工場	配電器 変圧器 箱閉閉器	電気コンロ 電気アイロン 二層スライチ 刃型閉閉器	174 851 1,025					資材入手難 外註部品ノ加工遅延 輸送難
	藤井鉄工所	200 200	紡績機装置製作	船舶用内燃機部品 航空機部品	自動車部品 自動車部品	15 0 15	5割	無	無	食糧事情 燃料 潤滑油、切削油	
丹波産業(株)	400 400		建設中	粉砕機 脱穀機 押麦機 運搬車	59 65 124		全焼 復旧見込ナシ		食糧問題 金繰り問題 資材入手難 住宅難		
帝國精密工業(株) 野村工場	5,000 5,000	無	中島歯車管 手動歯車管	紡績機械部品 工作機械部品	235 60 295	65%	戦災ヲ蒙ラズ		資材副資材ノ入手困難		
洲本	淡路産業(株)	2,000 2,000		航空兵器 その他兵器	紡績機械 農器具 精米機 家庭用品	321 215 536		無	無	食糧不足ニ依リ工具吸収難 資材配給ノ正規ルート 確立ナキコト	
		180 180	支那トブ貝	木釘 椰子釘 貝釘	木釘 椰子釘 貝釘	67 230 297		無	無	高級資材主員(南洋沖繩産) トブ貝等輸送関係ニテ入手 困難	
	三和製作所		工業用ミシン部品	工業用ミシン部品	47 23 70		80%	無	無	コークスノ不足	
日本唧筒製造所		180 180	電動ポンプ 電動機修理	汎用電動ポンプ 精米機 農機具	85 3 88						
九添工業(株) 湖本工場		160 160	電気配線器具	電気配線器具	70 150 220				本社ハ全焼セルモ 工場ハ異状ナシ		

(千円、人)

Materials on the Trajectory of Machine Factories during and after the Pacific War: In the Case of Hyogo Prefecture

Minoru Sawai

It is well known that machine factories that were manufacturers of civilian goods in prewar period, were mobilized to the production of military goods during the war, then again were obliged to reconvert to the civilian products after the war. However, it is difficult to totally perceive the trajectory of machine factories during and after the war in certain region, though we can grasp the real situation of individual case by means of the company history.

Materials in this paper could partially highlight a difficult task in the contemporary economic history. These materials are compiled from *Kôjô Genkyô Chôsa* (Survey on the Situation of Factories, edited by the Department of Commerce, Industry and Economy of Hyogo Prefectural Government, 1946). In the following tables based on this survey, the trajectory of 169 machine factories in Hyogo prefecture during and after the war is shown.

Editorial Policy

The Osaka Daigaku Keizaigaku (English title, Osaka Economic Papers) is published quarterly by the Economic Society of Osaka University and the Graduate School of Economics, Osaka University. The articles may be either in Japanese or in Western languages.

The Journal shall be under the editorial direction of an editorial board of three persons chosen from members of the Graduate School of Economics of Osaka University. The editorial board shall select papers for publication from submissions and classify them into the following categories : articles, notes, data, and book reviews.

Researchers who belong to the Graduate School of Economics of Osaka University may submit their studies for publication to this journal. Those who do not belong to the Graduate School may also publish their papers in this journal, if their contribution is closely related to research being undertaken in the Graduate School of Economics of Osaka University.

In the case of contributed manuscripts, the author should be a member of the Economic Society of Osaka University, who has paid the yearly membership fee of 4,000 yen.

大阪大学経済学 第66巻 第2号 (通巻214号)

平成28年9月発行

編集兼発行人 〒560-0043 豊中市待兼山町1番7号

印刷所 〒920-0855 金沢市武蔵町7番10号

発行所 〒560-0043 豊中市待兼山町1番7号

堂目卓生

能登印刷株式会社

大阪大学経済学会・大阪大学大学院経済学研究科

tel/fax 06-6850-5270

振替 00940-2-19842

OSAKA ECONOMIC PAPERS

Vol.66

No.2

September 2016

Data

Materials on the Trajectory of Machine Factories during and after the Pacific War:

In the Case of Hyogo Prefecture Minoru Sawai 1

THE ECONOMIC SOCIETY OF OSAKA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS, OSAKA UNIVERSITY
TOYONAKA, OSAKA, JAPAN